

2013年度ドコモ留学生奨学金募集・推薦要項

公益財団法人 日本国際教育支援協会

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(理事長 中村 維夫氏、NTTドコモグループが設立したNPO法人 以下「ドコモMCF」という。)のご支援により、「2013年度ドコモ留学生奨学金」(以下「奨学金」という。)の受給者を下記により募集する。

記

1. 目的

この奨学金は、アジア地域からの優秀な私費外国人留学生に対して、奨学金を支給することによって、入学後の経済的不安を緩和し、学習効果を高めることに寄与することを目的とする。

2. 奨学金の提供者及び提供の趣旨

この奨学金の提供者であるドコモMCFは、21世紀のマルチメディア社会において情報通信の発展とともに豊かで健全な社会を実現するため情報通信分野における人材の育成及び研究の促進、留学生に対する支援を通じた国際協力の推進並びに社会福祉の増進等、幅広い分野への支援活動を通じて社会全体の利益に寄与することを目的に活動している。

ドコモMCFは、アジア地域からの留学生への支援を通して、日本への理解を促進し、日本とアジア諸国との良好な友好関係構築に資することを趣旨として資金を提供された。

3. 応募資格

応募することができる者は、次の各号のすべてに該当するものとする。

- (1) 2013年4月入学者(10月入学者は不可)で、わが国の大学に設置される大学院修士課程(博士前期課程)1年次に在籍する私費外国人留学生で、次のいずれかの部門を専攻する者
 - ア. 通信技術、情報処理技術及びこれに関連する部門を専攻する者
 - イ. 人文・社会科学等の部門を専攻する者で、研究に「通信や情報処理」が活用されると大学が認める者
- (注)イを専攻するものは願書の「留学計画(2)大学院在籍中の研究概要」の欄に研究手法としての通信や情報処理活用の考え方を明記すること。
- (2) インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国(香港、マカオを含む)、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオスのいずれかの国・地域からの留学生
 - (3) 留学の目的及び計画が明確で、修学効果が期待できる者
 - (4) 大学院の授業等に適応することができる日本語能力を有する者
 - (5) 大学の長の推薦を受けることができる者
 - (6) 2013年4月以降他の奨学金を受ける予定のない者

(注)「わが国の大学」とは、ドコモMCFと協議の上選定した指定校制とする。

4. 採用人数

20名

5. 奨学金月額

120,000円

6. 支給期間

2013年4月より2015年3月までの2年間

7. 推薦方法

- (1) 奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、入学(在籍)する大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、応募者が3に掲げる応募資格に該当するとともに、学業・人物ともに優秀と認められる者について、8に掲げる推薦書類を、理事長に提出するものとする。

なお、推薦人数については依頼文のとおりとする。また、複数人の推薦にあたっては、同一の国・地域からの推薦人数は、総推薦人数の半数以下とする。

8. 推薦書類

- (1) 願書(別紙様式1。日本語で記載されたものに限る。) 1通
- (2) 応募者の写真(最近6か月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉
- (3) 大学の長による推薦書(別紙様式2)(注)推薦理由は指導教官等が記入すること。 1通

9. 推薦締切期日

2013年5月17日(金)(必着)

なお、締切期日を過ぎた場合、提出書類が不備の場合は受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10. 選考及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について国籍及び専攻分野等に配慮した書類審査の上、本協会に設置する選考委員会に諮り、受給者を決定し、採用者には、2013年7月下旬を目途に、大学を通じて通知する。

11. 奨学金の支給

奨学金は、別に定める方法により、在籍大学を通じて支給する。

12. 注意事項

- (1) 受給者は、奨学金の返還義務を伴わない。
- (2) 受給者が、次のいずれか一つに該当した場合には、支給を打ち切る。
 - ア. 休学または留年した場合
 - イ. 要項の定める事項に該当しなくなった場合
 - ウ. その他受給者として相応しくないと判断された場合
- (3) 受給者が長期欠席した場合は支給しない。
- (4) 書類の記載事項に虚偽が発見された場合は支給を取り消す。
- (5) 受給者は、受給期間中の学習・研究状況などを、年度末に在籍大学を通じ、別に定める様式により理事長に報告することとする。
- (6) 受給者は、ドコモMCF主催の受給者交流会(年2回程度)及びインターンシップ(2年間で1回程度)に、参加することとする。

13. 個人情報の取扱いについて

奨学金の推薦書類に記載された個人情報は、本制度のために利用され、その他の目的には利用されません。

14. 推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 事業部 国際交流課(担当: 藤田)

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29

TEL:03-5454-5274 E-mail:ix@jees.or.jp

2013年度 ドコモ留学生奨学金 願書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

申請者署名
(自筆)

私は、2013年度ドコモ留学生奨学金受給者として採用願いたく、下記記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。

記

● 氏名

フリガナ	
氏(ローマ字)	
フリガナ	
名(ローマ字)	

写真

最近6ヶ月以内に
撮影したもの。
タテ4.0cm×ヨコ3.0cm、
上半身、脱帽、裏面に
氏名を記入すること。

● 大学名等(2013年4月時点の予定を記入)

大学院		

研究科	専攻	
_____	_____	
修士(博士前期)課程	1	年次在籍
	(_____ 年 _____ 月 卒業予定)	

● 国・地域

● 生年月日

_____ 年 _____ 月 _____ 日
(2013年4月1日現在で満 _____ 歳)

● 性別

男 ・ 女

● 現住所等

〒 _____	

TEL: _____	携帯電話: _____
E-mail (PC): _____	_____
母国住所: _____	_____

● 他の奨学金受給・申請状況（貸与型及び一括支給型（一時金、授業料免除等）は除く）

奨学金名	支給団体名	月額	受給期間	状況 (いずれか選択)
		円	年 月 から 年 月 まで	・受給中 ・申請中 ・受給決定済
		円	年 月 から 年 月 まで	・受給中 ・申請中 ・受給決定済
		円	年 月 から 年 月 まで	・受給中 ・申請中 ・受給決定済

学校名及び所在地	専攻分野	在学期間
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで

勤務先及び所在地	職務内容・地位	勤務期間
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで

- 留学計画等(スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい)

(1) 日本で学習・研究する理由

(2) 大学院在籍中の学習・研究計画

学習・研究計画タイトル :
(無い場合は、概要)

(3) 現在の研究が、将来どのように社会に役立てられると思うか。

(4) 将来、どんな仕事に従事したいか。

(5) NTTドコモの事業・活動について、あなたがどう理解し、どう考えているかを、自由に述べてください。

以 上

【記入上の注意】

1. 申請者本人が日本語で記入すること。タイプ入力する場合は、印刷時に文字が切れないよう注意すること。
2. 氏名はローマ字の活字体を使用し、必ずパスポートと同一の記載とすること。

2013年度ドコモ留学生奨学金 推薦書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

大学名

学長名

公印

下記の者は、本学において審査の結果、2013年度ドコモ留学生奨学金の受給者として適格であると認めたので、「2013年度ドコモ留学生奨学金募集・推薦要項」に基づき、関係書類を添えて推薦します。

なお、受給者として採用された際は、大学を通じての奨学金支給に協力します。

記

● 推薦する学生の情報

(フリガナ)		国・地域	
氏名(ローマ字)			
学籍状況	学部・研究科	学科・専攻	
(2013年4月時点 の予定を記入)	修士(博士前期)課程	1 年次在籍 (年 月 卒業予定)	

● 推薦理由 (スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい)

推薦者 所属学部・研究科		職名		氏名	印

● 大学連絡先

住所	〒 -		
部署		電話	
担当者 氏名		E-mail	

以上